

○豊岡市総合計画(平成 19～29 年度)

<基本姿勢>

- 自然に抱かれて生きる
- いまを大切にし、日々の暮らしを楽しむ
- 未来への責任を果たす

<豊岡市の将来像>

「コウノトリ悠然と舞う ふるさと」

<施策の目標>

1 安全に安心して暮らせるまち

- ①安全を守るまちづくり
- ②安心しておだやかに暮らせるまちづくり

2 人と自然が共生するまち

- ①人と自然が響き合うまちづくり
- ②循環型のまちづくり
- ③快適で美しいまちづくり

3 持続可能な「力」を高めるまち

- ①地域経済を元気にするまちづくり
- ②賑わいと魅力を創るまちづくり
- ③活力を生むまちづくり

4 未来を拓く人を育むまち

- ①健やかで心豊かな子どもを育むまちづくり
- ②伝統・文化を未来につなぐまちづくり

5 人生を楽しみお互いを支え合うまち

- ①日々人生を楽しむまちづくり
- ②お互いを支え合うまちづくり

6 基本計画の実現に向けて

- ①特色ある地域の成長と連携
- ②参画と協働のまちづくり
- ③新しい時代にふさわしい行政経営

○総合計画策定以降の社会変化等(見直すべき視点)

○社会潮流(本計画で重視する視点)

- ・人口減少、少子高齢化
- ・災害発生時の地域連携、地域コミュニティの形成
- ・働く場の創出、ワークライフバランス、非正規雇用
- ・新エネルギー、地球温暖化に伴う集中豪雨
- ・インターネット、SNSの進展、利用者の低年齢化
- ・グローバリズム、インバウンド

などの視点から社会潮流を記述

○豊岡市の現状と特性

- ・市民アンケート
⇒7月27日を投函締切として、市民アンケートを実施中。
- ・高校生ワークショップ
⇒7月21日に、市内5校の高校2年生を対象に高校生ワークショップを開催(結果は別紙参照)
- ・講演会
⇒7月6日に「技術革新が将来の生活や産業を変える」、8月5日に「包摂と寛容の社会へ」を開催。
- ・総合戦略
⇒戦略目的A「暮らすなら豊岡と考え、定住する若者が増えている」、戦略目的B「多くの子もでにぎやかな家庭を持つ若者が増えている」に基づく、事業・指標を設定。
等を踏まえて整理

○第2次総合計画の見直しの考え方(平成 30～41 年度) ※体系図は次ページ参照

<基本理念について>

- ・豊岡市では、平成24年に「豊岡市いのちへの共感に満ちたまちづくり条例」を制定し、まちづくりの基本理念として「いのちの共感」を定め、さまざまな取り組みへ広げることが示されています。
- ・総合計画においても、いのちへの共感(①命は限られている、②命はささえあっている、③命はつながっている)を基本理念として取り組んでいきます。

【記載内容のイメージ案】

- ・コウノトリの野生復帰…①自然を守る、②様々な広がり(環境、経済、農業、交流等)、③自然豊かな豊岡を引き継ぐ
- ・出石永楽館、庁舎など…①歴史的建築物を再生、②人が集い賑わう、③将来へ引き継ぐ
- ・経済活動 …①商品価値を磨く、②様々な分野と連携する、③新たな経済の広がり
- ・社会的弱者を包み込む…①対等・尊重、②社会とつながる、③活躍の場を広げる

<将来像についての考え方>

■(新しい将来像を今後検討)

- ・人口減少、地方創生、世界とのつながりなどを踏まえ、一定の議論の後、案を検討します。

■まちづくりの基本的な考え方

- ・将来像の実現に向け、以下に示す基本的な考え方のもと、まちづくりを展開します。
 - 人と人とのつながりを大切にし、支えあい助けあいによる安全・安心なまち
 - 地域の個性を生かした産業が生まれ育ち、世界の人々を魅了しているまち
 - 豊かな自然のなかで四季の移ろいを感じながら、日々の暮らしを楽しむことのできるまち
 - 子どもたちが豊岡への誇りと愛着を育み、地域の担い手として育っているまち
 - 市民との協働による持続可能な行財政運営が確立しているまち

<取り組みの柱について> ここを審議会で審議いただきます

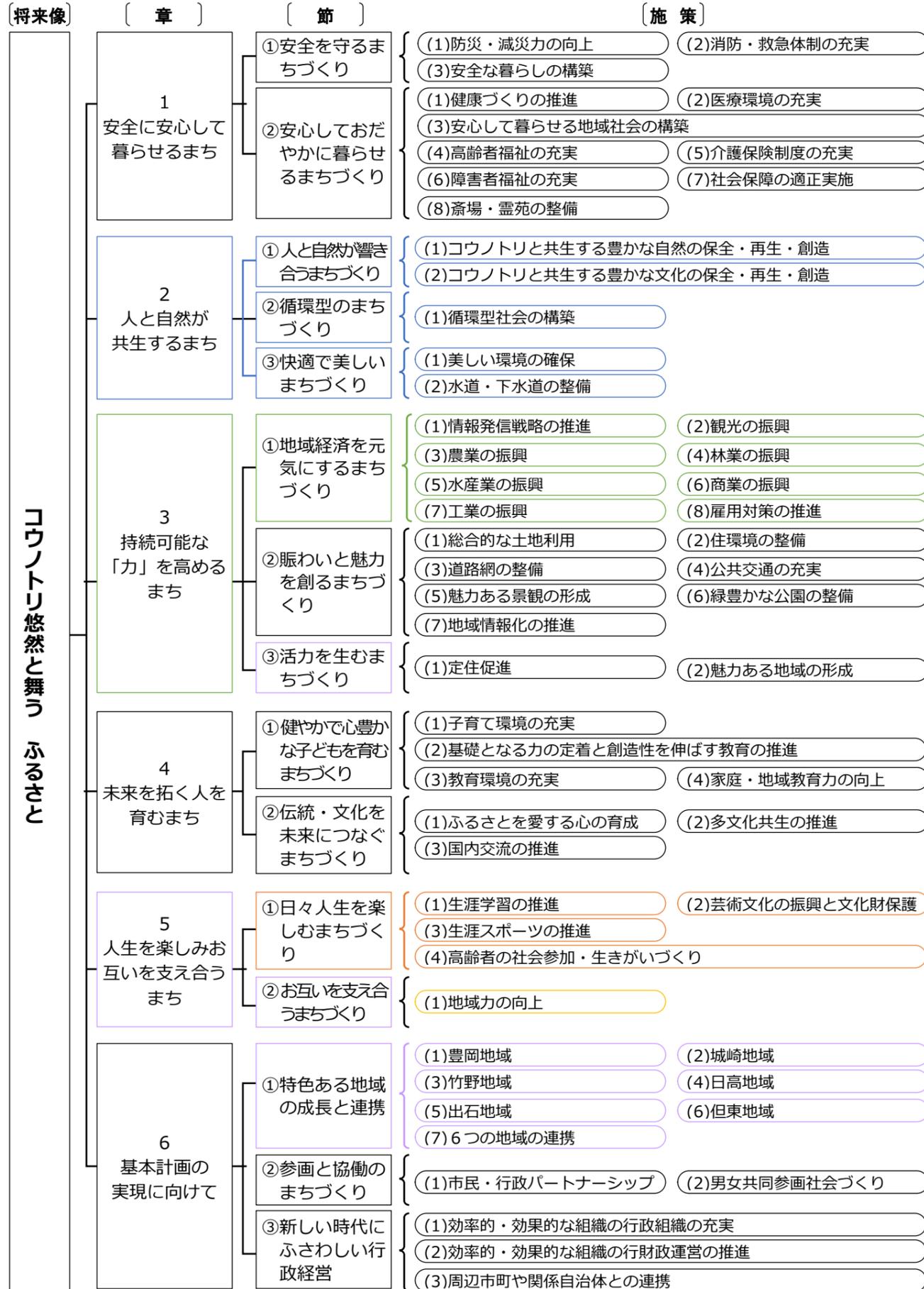
- ・審議会や高校生ワークショップで出された意見を踏まえ、以下の5つの取り組みの柱を設定します。
 - (1) 誰もが安全に安心して暮らしているまち
 - (2) 個性ある産業が世界へ羽ばたき、活力と賑わいに満ちているまち
 - (3) コウノトリ舞う自然と調和した環境が創られているまち
 - (4) ふるさとを愛する地域の担い手が育っているまち
 - (5) 市民とともに持続可能な市政運営を推進しているまち

○豊岡市基本構想審議会

第1回(平成28年2月1日)	: 委嘱、諮問、審議会運営方法、総合計画の期間について
第2回(平成28年4月13日)	: 自由討議(10年後の豊岡の暮らしと仕事について)
第3回(平成28年5月10日)	: まちの将来像・取り組みの柱立てとなるキーワード(ワークショップ)
第4回(平成28年7月6日)	: 前回のまとめ、総合計画と個別計画との関係、将来像や取り組みの柱立てで重要なキーワードについて
第5回(平成28年8月5日)	: アンケート結果の報告(速報値)、基本理念、将来像、取り組みの柱
第6回(平成28年10月予定)	: 取り組みの柱、取り組みの柱に基づく分野別の方針案、役割・進め方、アンケート結果の報告 ※答申
第7回(平成29年1月予定)	: 基本構想(たたき台)、市政経営方針(たたき台)
第8回(平成29年2月予定)	: 基本構想(骨子)、市政経営方針(骨子)

社会潮流や、豊岡市の現状と特性を踏まえて、将来像や取り組みの柱立て等について議論。

豊岡市総合計画の体系



第2次 豊岡市総合計画の体系（案）

